

平成22年12月期 第1四半期決算短信

平成22年5月13日

上場取引所 JQ

上場会社名 新報国製鉄株式会社
 コード番号 5542 URL <http://www.shst.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 成瀬 正
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 森 善男
 四半期報告書提出予定日 平成22年5月14日
 配当支払開始予定日 —

TEL 049-242-1950

(百万円未満四捨五入)

1. 平成22年12月期第1四半期の連結業績(平成22年1月1日～平成22年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年12月期第1四半期	493	3.9	△159	—	△160	—	△135	—
21年12月期第1四半期	475	—	△397	—	△386	—	△366	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年12月期第1四半期	△42.65	—
21年12月期第1四半期	△115.60	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年12月期第1四半期	3,271	425	13.0	134.45
21年12月期	3,739	602	14.7	174.57

(参考) 自己資本 22年12月期第1四半期 425百万円 21年12月期 551百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年12月期	—	—	—	0.00	0.00
22年12月期	—	—	—	—	—
22年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年12月期の連結業績予想(平成22年1月1日～平成22年12月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期	1,100	11.5	△70	—	△50	—	△50	—	△15.83
連結累計期間	2,700	47.1	0	—	25	—	25	—	7.92

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年12月期第1四半期 3,510,000株 21年12月期 3,510,000株

② 期末自己株式数 22年12月期第1四半期 352,204株 21年12月期 352,204株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年12月期第1四半期 3,157,796株 21年12月期第1四半期 3,168,564株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は、今後、様々な要因によって異なる場合があります。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国の経済は、回復基調にあるものの、設備投資や雇用は依然として厳しい状況で推移しました。

半導体及び液晶関連業界は、現在急速に回復しつつあります。当社グループの関連する液晶露光装置用低熱膨張鋳鋼は、当第1四半期連結会計期間に受注が大幅に増加しましたが、受注先の在庫滞留の調整が進んだ状況であり、当第1四半期連結会計期間では売上高に若干寄与した程度でした。

半導体露光装置用低熱膨張鋳鋼は、ようやく受注が出てきており今後の受注回復が期待できます。

また、シリコンウエファ研磨用定盤は、シリコンウエファメーカーの設備投資が未だ回復せず、当社受注には至っておりません。

従いまして、売上高は493百万円と前年同期比19百万円の若干増収でしたが、前年10月～12月と比較しますと51百万円の増収となっております。営業損失は159百万円(前年同期は営業損失397百万円)、経常損失は160百万円(前年同期は経常損失386百万円)、四半期純損失は135百万円(前年同期は四半期純損失366百万円)と依然として赤字ですが、赤字幅は大きく改善されており、今後黒字化へ向けて最大限の努力を傾注する所存であります。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

総資産は、前連結会計年度末より468百万円減少し3,271百万円となりました。これは主に現金及び預金の減少額360百万円及び仕掛品の減少額131百万円等によるものです。

負債は、前連結会計年度末より291百万円減少し2,846百万円となりました。これは主に未払金の減少額236百万円等によるものです。

純資産は、前連結会計年度末より177百万円減少し425百万円となりました。これは主に利益剰余金の減少額135百万円等によるものです。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に対し360百万円減少し125百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは△269百万円(前年同期は△461百万円)となりました。これは主に税金等調整前四半期純損失166百万円及び未払金の減少236百万円等の減少要因が、たな卸資産の減少180百万円等の増加要因を上回ったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは△42百万円(前年同期は△65百万円)となりました。これは主に子会社株式の取得による支出45百万円等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは△49百万円(前年同期は595百万円)となりました。これは主に長期借入金の返済による支出57百万円等によるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成22年2月19日発表「平成21年12月期 決算短信」の業績予想から変更ありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(簡便な会計処理)

① 棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	632,961	992,990
受取手形及び売掛金	268,749	244,832
製品	337,783	351,236
仕掛品	519,996	650,762
原材料	90,645	126,899
その他	23,464	54,876
貸倒引当金	△37	△31
流動資産合計	1,873,559	2,421,563
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	414,466	401,295
土地	532,733	532,733
その他(純額)	328,030	300,991
有形固定資産合計	1,275,228	1,235,019
無形固定資産		
のれん	26,371	—
その他	6,752	7,094
無形固定資産合計	33,123	7,094
投資その他の資産	88,731	75,041
固定資産合計	1,397,083	1,317,154
資産合計	3,270,642	3,738,717
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	286,589	304,270
短期借入金	1,229,065	1,225,851
未払法人税等	446	932
賞与引当金	18,400	17,500
事業構造改善引当金	—	5,986
設備関係支払手形	116,971	84,756
その他	116,246	368,504
流動負債合計	1,767,718	2,007,799
固定負債		
社債	200,000	200,000
長期借入金	541,172	592,557
退職給付引当金	93,055	89,226
役員退職慰労引当金	—	116,352
その他	244,133	131,226
固定負債合計	1,078,359	1,129,362

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
負債合計	2,846,077	3,137,161
純資産の部		
株主資本		
資本金	175,500	175,500
資本剰余金	133,432	133,432
利益剰余金	215,331	350,002
自己株式	△121,182	△121,182
株主資本合計	403,082	537,753
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	21,483	13,490
評価・換算差額等合計	21,483	13,490
少数株主持分	—	50,313
純資産合計	424,565	601,556
負債純資産合計	3,270,642	3,738,717

(2) 【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年3月31日)
売上高	474,652	493,197
売上原価	712,359	527,836
売上総損失(△)	△237,707	△34,639
販売費及び一般管理費	159,426	123,928
営業損失(△)	△397,133	△158,567
営業外収益		
受取利息及び配当金	62	188
受取賃貸料	4,893	4,824
助成金収入	10,644	1,737
雑収入	5,350	8,555
営業外収益合計	20,949	15,305
営業外費用		
支払利息	5,971	8,822
雑支出	3,880	7,940
営業外費用合計	9,851	16,763
経常損失(△)	△386,035	△160,024
特別利益		
固定資産売却益	—	6,250
特別利益合計	—	6,250
特別損失		
固定資産除却損	1,995	—
土壤調査費	—	12,381
特別損失合計	1,995	12,381
税金等調整前四半期純損失(△)	△388,031	△166,155
法人税、住民税及び事業税	338	278
法人税等調整額	8,791	—
法人税等合計	9,128	278
少数株主損失(△)	△30,862	△31,762
四半期純損失(△)	△366,296	△134,671

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△388,031	△166,155
減価償却費	34,402	31,879
有形固定資産除却損	1,995	—
有形固定資産売却損益(△は益)	—	△6,250
貸倒引当金の増減額(△は減少)	—	△84
賞与引当金の増減額(△は減少)	8,550	900
事業構造改善引当金の増減額(△は減少)	—	△5,986
退職給付引当金の増減額(△は減少)	5,171	3,829
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	9,312	—
受取利息及び受取配当金	△62	△188
支払利息	5,971	8,822
売上債権の増減額(△は増加)	435,244	△23,917
たな卸資産の増減額(△は増加)	185,477	180,474
仕入債務の増減額(△は減少)	△422,644	△17,681
未収入金の増減額(△は増加)	△154,140	27,002
その他	△78,765	△290,788
小計	△357,521	△258,145
利息及び配当金の受取額	62	60
利息の支払額	△7,698	△10,071
法人税等の支払額	△95,917	△675
営業活動によるキャッシュ・フロー	△461,073	△268,831
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△64,049	△3,452
有形固定資産の売却による収入	—	6,492
子会社株式の取得による支出	—	△45,000
その他	△1,436	△470
投資活動によるキャッシュ・フロー	△65,485	△42,430
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△148,897	8,919
長期借入れによる収入	780,000	—
長期借入金の返済による支出	△34,259	△57,090
自己株式の取得による支出	△55	—
リース債務の返済による支出	—	△577
配当金の支払額	△13	△21
少数株主への配当金の支払額	△1,800	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	594,976	△48,768
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	68,418	△360,029
現金及び現金同等物の期首残高	127,790	484,790
現金及び現金同等物の四半期末残高	196,208	124,761

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。